

令和4年度  
小学校教育課程編成の手引  
【外国語科編】

---

外国語科における  
1人1台端末を活用した  
「個別最適な学びと協働的な学び」

---

北海道教育委員会

# 外国語科における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 (小学校)

## 1 単元の概要

学 年：第6学年

単 元 名：「My town is beautiful.」5時間扱い

単元の目標：町にある場所や施設などについての言い方を知り、自分たちの町のよさについて考え、発表することができる。

## 2 事例におけるICT活用のポイント

- ・自分たちの町を紹介するために、プレゼンテーションソフトを活用することにより、児童が、ワークシートに紹介する町の施設の画像と簡単な紹介文を入力し、思考・判断・表現する場面が設定できます。
- ・個別に作成したワークシートをホワイトボードソフトで共同編集しながら、自分たちの町のよさについて話し合いを深め、協働的な学びにつなげることができます。

## 3 使用したソフトや機能

- ・プレゼンテーションソフト
- ・学習支援ソフトの共同編集機能
- ・ウェブ会議ソフト

### 【参考資料】

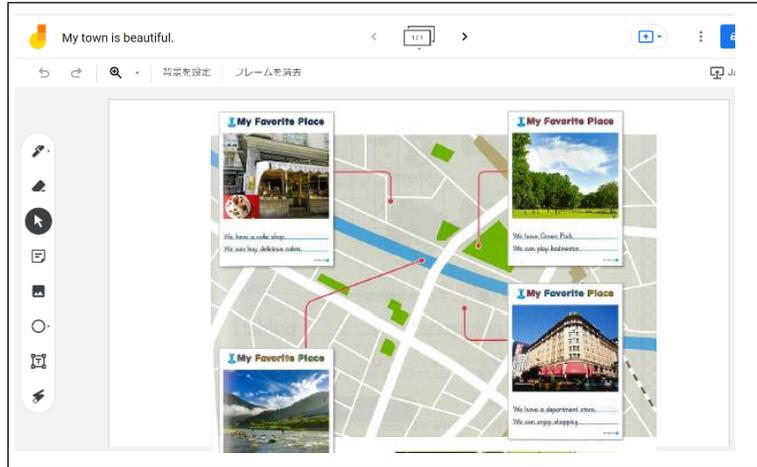
- ・外国語の指導におけるICTの活用について  
(文部科学省)



# 外国語科における1人1台端末を活用した「個別最適な学びと協働的な学び」(小学校)

## 4 1人1台端末の活用例

### 【ICTの活用場面①】



#### 〔交流場面で活用する〕

- ・ 個別に作成したワークシートを学習支援ソフトの共同編集機能を活用して、デジタルホワイトボードの地図の上に貼ることにより、自分たちの町を紹介する資料が作成できます。
- ・ 共同編集により、児童が対話しながら作業するなど、言語活動の時間を十分に確保することができます。
- ・ 他のグループのシートを見ることで学級全体で互いのよいところや多様な考え方、新しい視点に触れるなど、協働的な学びにつなげることができます。

### 【ICTの活用場面②】



#### 〔言語活動の充実を図る〕

- ・ 「相手により伝わるように自分たちの町のことについて、考えや気持ちを交えて話す」など活動の目的や場面、状況を明確にし、端末を用いた活動を設定します。
- ・ Web会議システムを活用することにより、遠隔で海外の英語話者とつながり「本物のコミュニケーション」を図ることができます。

# 外国語科における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

## ①共同編集機能の活用

これまで付箋紙や模造紙を用いていたグループ交流をデジタルホワイトボードソフトやプレゼンテーションソフトの共同編集機能を活用することにより、共有の効率化が図られ、言語活動の時間を十分に確保することができます。



## ②端末を活用した交流・遠隔授業

Web会議システムを活用することにより、小規模の学校間や、国内外の姉妹校等をオンラインでつなぎ、遠隔授業を行うことができ、対話的な学びの充実につなげるとともに、英語話者との「本物のコミュニケーション」を図ることができます。



### 【参考資料】

・GIGAスクール構想のもとでの  
小学校外国語活動・外国語科の  
指導について（文部科学省）



・StuDX Style  
各教科等における1人1台端末の活用  
各教科等での活用〔小学校 外国語活動、外国語科〕  
（文部科学省）

